

職員提案制度実施結果

年度	提案者	提案件名	提案の概要	賞	審査結果理由
平成 23年度	阪口 力	債権管理条例の制定	債権管理条例を制定し、透明性を確保した明確な不納欠損処理の基準を設けることにより、効率的な債権管理を行う。	—	債権管理について、市として統一を図る必要があると認められる。
	中島 雄介	50cm ² (5.5cm×9.1cm)の情報発信事業	市役所共通の名刺を作成し、市内観光名所の写真・名称やホームページのQRコード等を掲載することで、積極的な市政情報の発信を行う。	—	市の情報発信に寄与する事業である。
	山本 伸一	茶封筒の印字項目の追加について	財政課より支給される茶封筒に予め「山城木津局 料金後納郵便」の文言を印字することにより、業務の効率化および省力化を図る。	市長特別賞	業務の効率化に寄与するものである。
	中島 雄介 武田 浩文 佐々木智子	環（わ）の拠点創出事業	旧街道沿いにサイクリング愛好家のニーズを反映した拠点を整備することで、旧街道への引き込みによる賑わいの創出と、地域文化との交流による「ロコミの魅力発信」に取り組む。	アイディア賞	茶間屋街の古民家を活用した画期的な事業と認められる。
平成 24年度	西野 元章	各課が所蔵する書籍等のデータベース化	各所属で所蔵する専門書籍等のタイトルをデータベース化して職員に公開することにより、書籍等をより一層活用できる基盤を整備する。	—	職員の書籍の利活用を促進する事業である。
	中谷美知郎 山口一成 西村和将 中島雄介 富井利昌	職員自主研修グループ支援制度	職員自主研修グループに対し、会議室や備品等の使用を認める支援制度を設ける。	—	職員の自主性を支援するために必要な制度である。

職員提案制度実施結果

阪口 力	議案の配布方法の見直し (一部採用)	本会議出席者以外への議案書配付を廃止し、庁内LANにおいて共有フォルダー化を行うにより、印刷物の減量化と職員の情報共有を図る。	—	情報共有のため、共有フォルダー化については採用する。
西野 元章	木津川市インターネット放送局の充実	木津川市インターネット放送局に本市出身の著名人である横山結衣さんにサプライズで登場していただき、ツイッターでつぶやいていただくことで、木津川市を全国にPRする。	—	実現は困難であるが、インターネット放送局を活用したPRは更に進めるべきである。
阪口 力	附属機関等の設置及び運営に関する指針の制定	各課で所管する附属機関等の整理を統一行的に行うため、附属機関等の設置及び運営に関する指針を制定する。	—	本提案を参考とし、すでに市で取り組んでいる内容である。
倉橋 大輔	パワーハラスメントの予防及び解決に係る要綱の制定について	パワハラによる職員のメンタルヘルス不調の問題を解決するため、パワーハラスメントの予防及び解決に係る要綱を制定する。	—	要綱の制定は見送るが、引き続き趣旨に沿った取り組みは進める。
廣岡 敦紀	心からのおもてなし計画	婚姻届及び出生届等を届けられた市民に対し、本庁1回フロアにいる全職員が起立して笑顔で拍手し、心を込めて祝福する。	アイディア賞	実現方法を再考する必要があるが、おもてなし事業に取り組む姿勢は重要である。
衣斐 賢一	6S『整理、整頓、清掃、清潔、作法、躰』の励行及び徹底	全職員に対し6S『整理、整頓、清掃、清潔、作法、躰』を徹底させると共に、6S委員会、パトロール、監査を定期的実施する。	アイディア賞	職員が業務を進める上で重要な事項であり、実施可能な内容から取り組みを進めていく。
諸井 真	観光ハイキングコース・ルートの整備とコースを活用したイベントの実施	山城ー加茂間のコースや山背古道の延伸等、市内の観光ハイキングコース・ルートを整備し、それを利用したウォーキングイベントを実施す	—	財政的に現時点での取り組みは困難であるが、今後も広域的なハイキングコースを

職員提案制度実施結果

			る。		整備する必要がある。
平成 25年度	廣岡 敦紀	引継ぎ！受け継ぎ！いい ね？計画	事務引継書を「マニュアル編」「継承編」の2部 構成とし、ルールづくりを行い課内で共有を図 る。	アイデア賞	一部既に取り組まれている が、業務の効率化に寄与す るものである。
	西野 元章	市有バスの有効活用につ いて	市有バスにいづみ姫のステッカーを貼ることに より市のPRを行う。	アイデア賞	いづみ姫のPR、普及につ ながるものである。
	西野 元章	古紙（雑がみ）回収の取り 組み強化について	広報折込でいづみ姫をプリントした紙ごみ回収 用袋を配布し、リサイクル意識向上に繋げる。 また、当該経費は事業者による広告収入により 賄う。	市長 特別賞	市民のリサイクル意識の向 上に寄与し、ごみ処理に係 る経費削減にも繋がるもの である。
	武田 浩文	市場化テストの導入	即戦力の職員を安価で雇用できる再任用制度の 活用し、市場化テストを導入の検討を行う。	—	すぐに実施することは困難 であるが、指定管理制度を 常に検証していくことは重 要である。
	木村 誠	民間企業経験者職員採用 及び職員等昇任試験につ いて	民間企業等経験者採用試験による即戦力職員の 採用及び係長等昇任昇格試験を実施すること により、職員の士気向上、組織力の向上を図る。	—	民間企業経験者の職員採用 は一部実施しているが、職 員の採用方法や、昇任試験 を検討していく必要がある。
	木村 誠	軽費作業における一斉民 間委託及び雇用促進につ いて	業務繁忙時の封書づめや確認作業を民間委託で 行い、職員の時間外手当や光熱費の縮減を図る。	—	既に一部実施している事務 もあるが、人件費・物件費 の削減については今後も進

職員提案制度実施結果

					めていく必要がある。
	木村 誠	職場環境の改善について …「心の病」ゼロを目指して	市職員ではない独立した相談窓口に心理カウンセラーや保健師の常駐させることにより心の病の予防を行う。 また、全職員に標語を募集することにより意識改革を行う。	—	既に一部取り組んでいるが、職場環境の改善は重要であり、引き続き提案の趣旨に沿った取り組みを進めていく必要がある。
	西置 秀之	木津川市の魅力アップと魅力発信の方策について	イベント等への更なる参加、広報紙への姫ニュースの毎月掲載、グッズの作成・販売、福寿園や横山由依氏とのコラボ、他のゆるキャラとの共演、木津川市七福神計画等により、いづみ姫の認知度の向上を図る。	—	七福神計画や福寿園・横山由依氏とのコラボの実現は困難であるが、いづみ姫の露出度アップについては、今後も引き続き取り組んでいく必要がある。
	木村 誠	市職員における事務服、作業服の貸与等について	全職員へ事務服及び災害時に職員の身分を示すものとしての作業服を貸与する。	—	事務服を公費で購入することは困難であるが、災害時に木津川市とわかるような統一した作業服の必要性は認められる。
	辻本 伸洋	「秀菜トマトプロジェクト」京大農場を核とした“みのり”多いまちづくり～木津川市戦略企画室の設置～	京大農場移転に向けた京大ブランドイメージを定着させるために5つのプロジェクトを実施する。 また、市民や企業が求めている市場を調査し、ニーズに応じた事業の実施に向け、実現するための条件整理を行う部署として、戦略企画室を	—	全庁的なマーケティング調査のみに特化した戦略企画室の設置は二重行政となるため、設置は困難であるが、京都大学との連携と活用については、取組可能な提案

職員提案制度実施結果

			設置する。		について、今後、関連機関と調整した中で進めていく必要がある。
平成 26年度	八田 達男	料金物納郵便封筒への広告表示	封筒の料金別納表示に広告表示を付すことができる制度を利用し、広告表示としていづみ姫のイラストを載せる。	—	現状の予算で実施可能であり、いづみ姫のPRに繋がる。
	廣岡 敦紀	夢と思い出いっぱい「木津川市劇場化計画」	定住化及び地方創生を目的とし、市を劇場と見立て、市民一人ひとりが主役となれる様々な事業を行う。(市内施設に希望する市民の手形プレートを設置する、など)	アイディア賞	提案のあった全ての事業を実施することは困難だが、市民を主役とした施策は、定住化の促進に繋がると考えられ、実現性を検討する必要がある。
	八田 達男	木津川市の特産品の創造	和紙の原料である楮(こうぞ)を学研木津北地区で栽培し、市産の和紙「木津川和紙(きづがわし)」を生産する。	—	学研木津北地区の里山を再生するにあたり、外来種の植樹ではなく、在来種を活用するべきであるとの学識者の意見がある。しかしながら、同地区は有効活用するべきであり、別の手段を検討する必要がある。
令和 元年度	新田 真司	スマート自治体の実現に向けたロードマップについて	本市では、令和元年を市役所スマート化元年と位置付け、RPAの本格導入に着手するとともに、スマート化宣言によりスマート自治体に向け戦略的に取り組む意思表明を行ったところである。その実現に向け、現状や課題を整理し口	—	スマート化宣言を具体的にしていくな必要施策のため

職員提案制度実施結果

			ードマップを示す必要がある。		
令和 2年度	岡藤 稜汰	事務改善を人事評価に活用し、事務改善が当たり前の職場を作る	職員が事務改善を積み重ねることは、市民サービスの向上や事務効率向上に繋がり、職員が自発的に事務改善に取り組む環境づくりを形成する必要がある。	優秀賞	庁内及び所属課内での改善の意識が高まり、市民サービスの向上や事務効率向上に繋がるため。
	岡藤 稜汰	職員証や名札の顔写真を笑顔の写真に変更する	職員証や名札の顔写真を笑顔に変更することで、魅力的・親しみやすいなど、より好印象を与えるイメージを追加することによって、より開かれた市役所にする。	アイデア賞	より柔らかな印象を与えることで、新たな市役所のイメージアップに繋がるため。
	原 佑太郎	教育の補助を目的としたふるさと納税の推進	市内の大きな才能や能力をもった学生をさらに伸ばすため、ふるさと納税を活用し、市内の教育水準の向上、ふるさと納税の推進を図る必要がある。	—	これからの教育支援に向けて、必要な趣旨内容となっているため。
令和 3年度	木村 真也	木津川市スマートリーダー育成による事務の効率化	木津川市スマート化宣言によるデジタル行政の推進に伴い、基幹系 PC の不具合や、アプリケーション操作方法など多岐に渡る問題が生じている。そのような中、軽微な案件は可能な限り各所属で解決できるようワンストップを図ることが必要である。	特別賞	スマート化宣言に伴い、市の方針に沿った必要な趣旨内容であるため。
令和 4年度	井筒 正純	災害対応能力向上に向けた LoGo チャットを活用した職員安否確認訓練の実施について（地震災害時）	地震災害発生時の木津川市職員の安否確認として、LoGoチャットを活用し、電話やメールによる1 対1 の連絡ではなく、一度に全員が各職員の状態を把握することを可能とする。	—	緊急性を伴う災害時対応において、デジタル化による即効性を活用した趣旨内容であるため。

職員提案制度実施結果

	井筒 正純	官民連携推進に向けた公的不動産の試行的利活用について（木津駅西口公園）	木津川市における公的不動産の利活用を促進するため、木津駅前にある「木津駅西口公園（街区公園）」において、民間事業者から公共空間の暫定的な利用に対する提案を募集し、一定期間、実際に使用してもらう「トライアル・サウンディング（社会実験的な取組）」を実施する。	アイデア賞	場所を木津駅西口公園に限定するという面ではもう少し広く考える必要があるが、公的不動産の利活用という面では、良いアイデアであるため、趣旨採択のアイデア賞とする。
令和 5年度	井筒 正純	通話録音機能の導入による市民サービスの向上	万が一に備えた履歴の記録や管理、迷惑電話の防止として、外部からの電話を録音する機能を導入。電話業務に対応する職員の安心・安全にもつながり、事務の効率化にも寄与する。	—	苦情対応や聞き逃しを防ぎ、市民サービスの向上に繋がるため。
令和 6年度	木村 真也	LoGoチャットでフェイス to フェイス	自治体専用ビジネスチャットとして職員間で活用しているLoGoチャットに関して、アイコンを職員の顔写真にして顔と名前の把握をすることで、職員間連携の向上や、顔の見える関係性を築く一助とする。	アイデア賞	顔の見える関係性を築く一助となり、職員間連携の向上が図れる取り組みであるため。また、今あるツールを活用したアイデアであるため。